



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2012年(平成24年)11月16日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

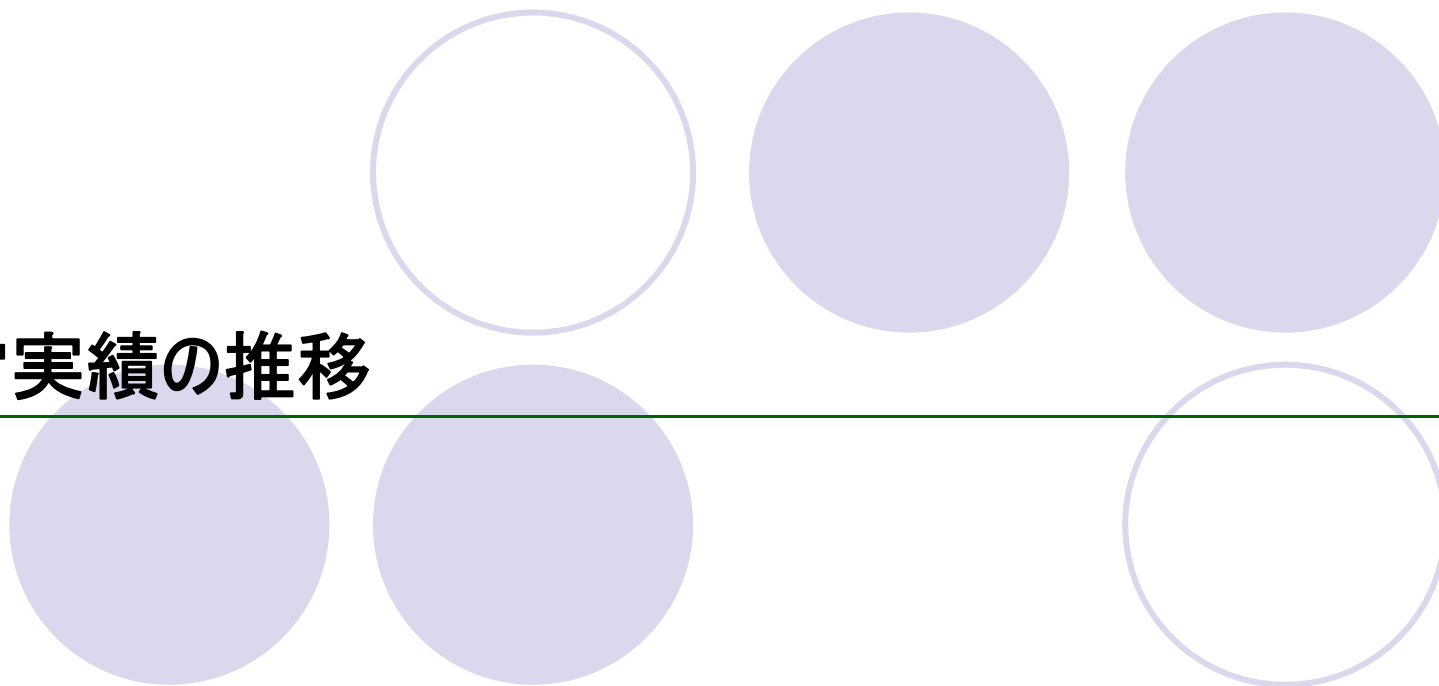
I 経営実績の推移

II 第12次中期経営計画の進捗状況

III 新商品・新技術・新規事業の推進

IV 2013年(平成25年)3月期第2四半期 連結決算の概要

I 経営実績の推移

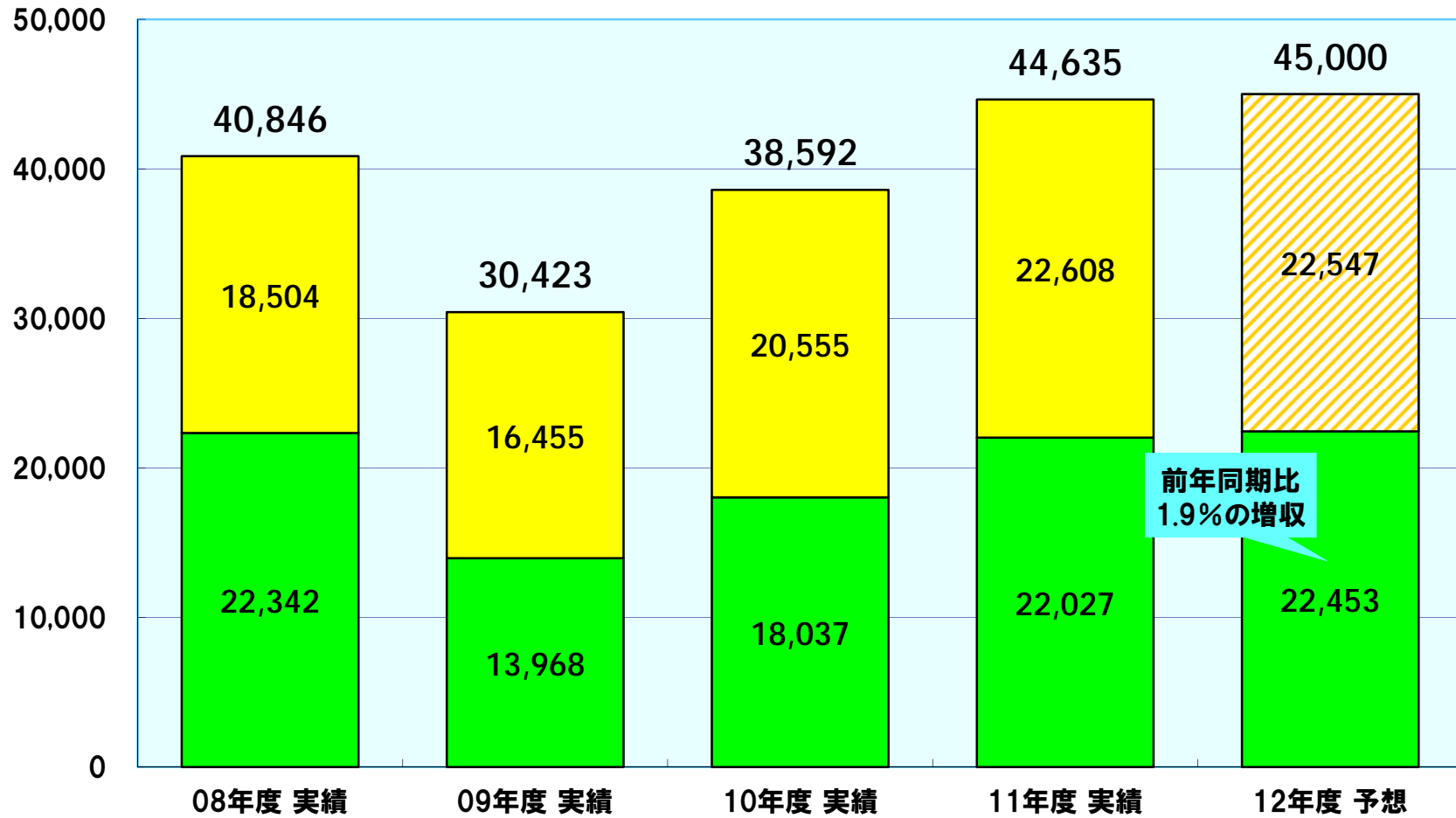


1

連結売上高

(単位:百万円)

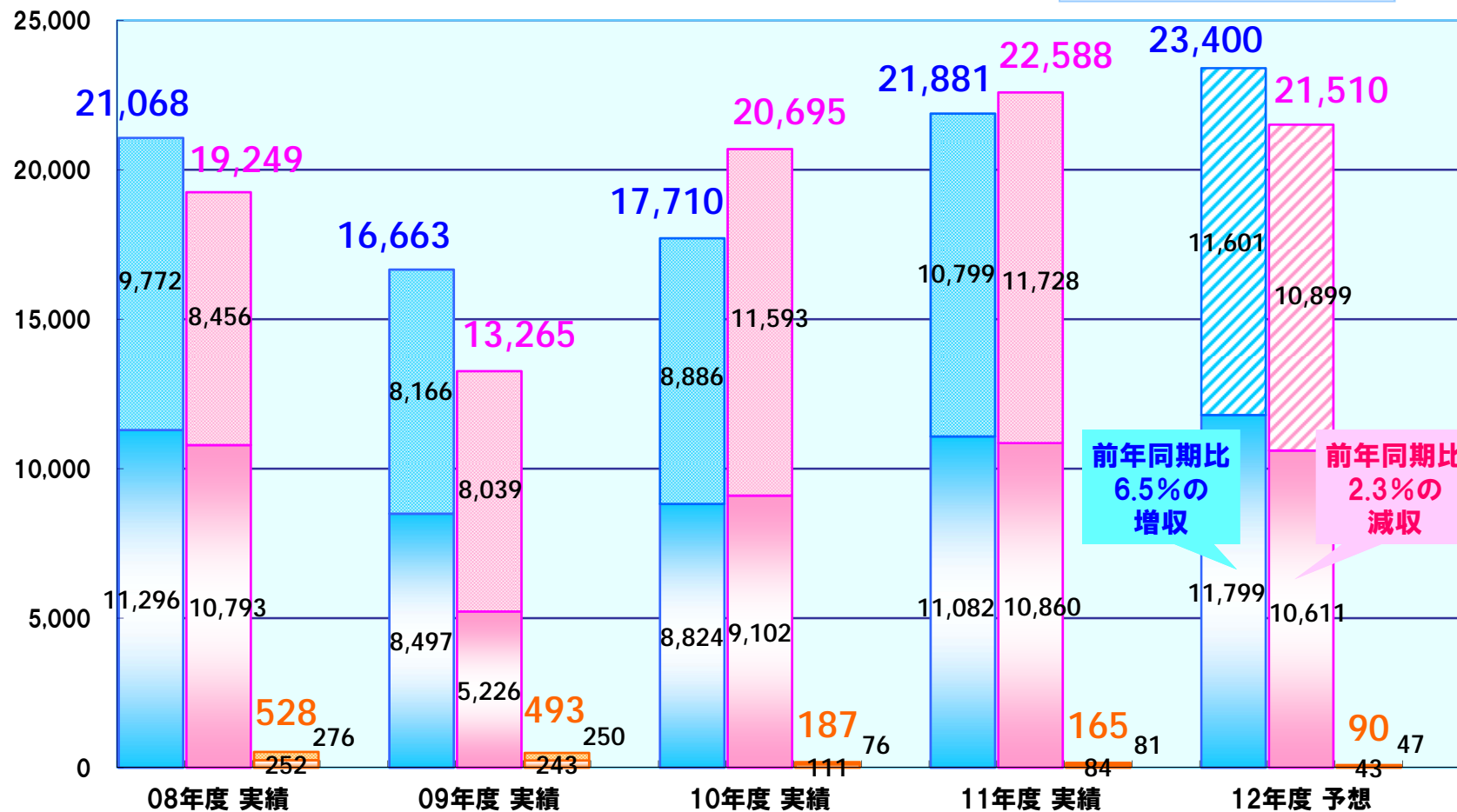
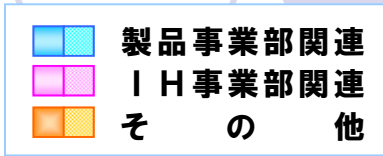
下期 売上高
 上期 売上高



2

セグメント情報(連結売上高)

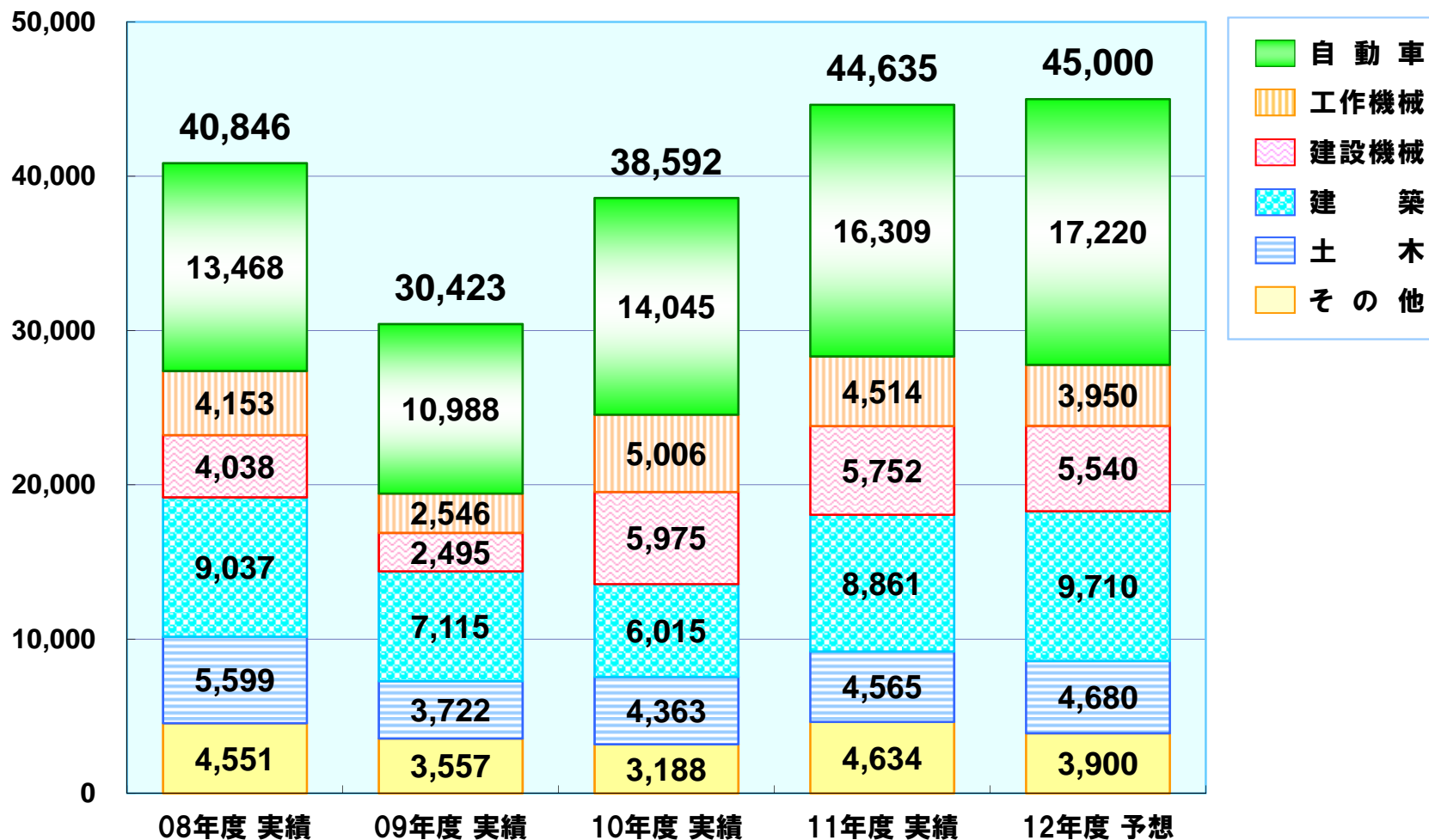
(単位:百万円)



3

業界別売上高

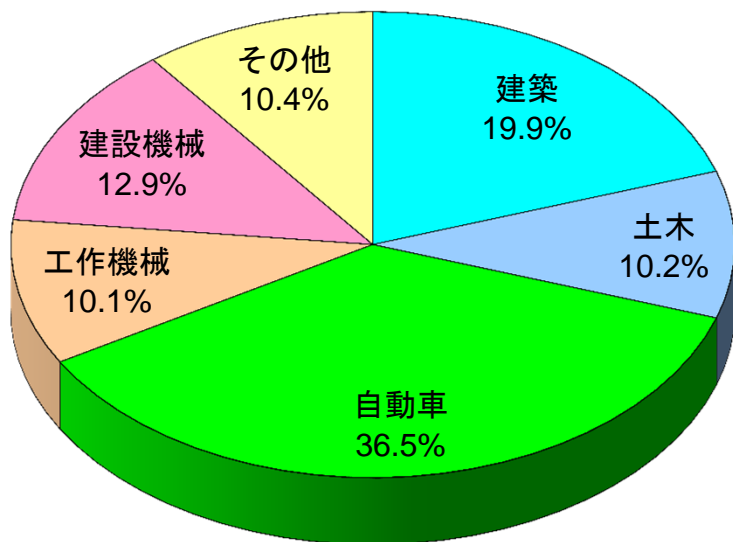
(単位:百万円)



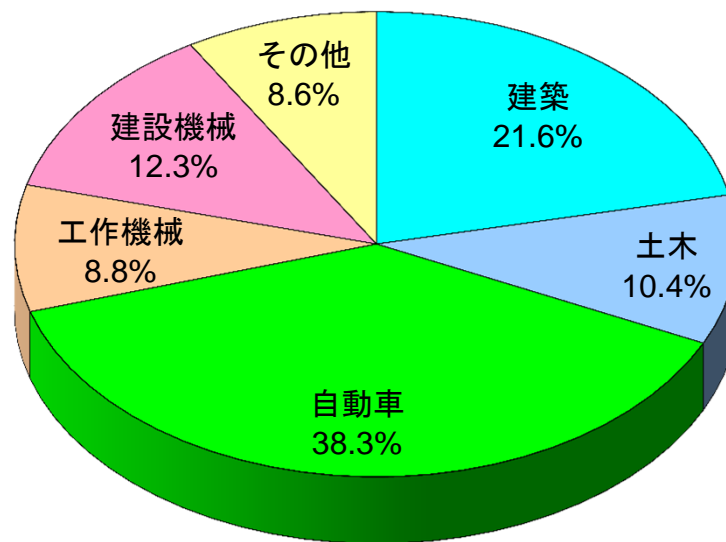
4

業界別売上高比率

2011年度実績



2012年度予想

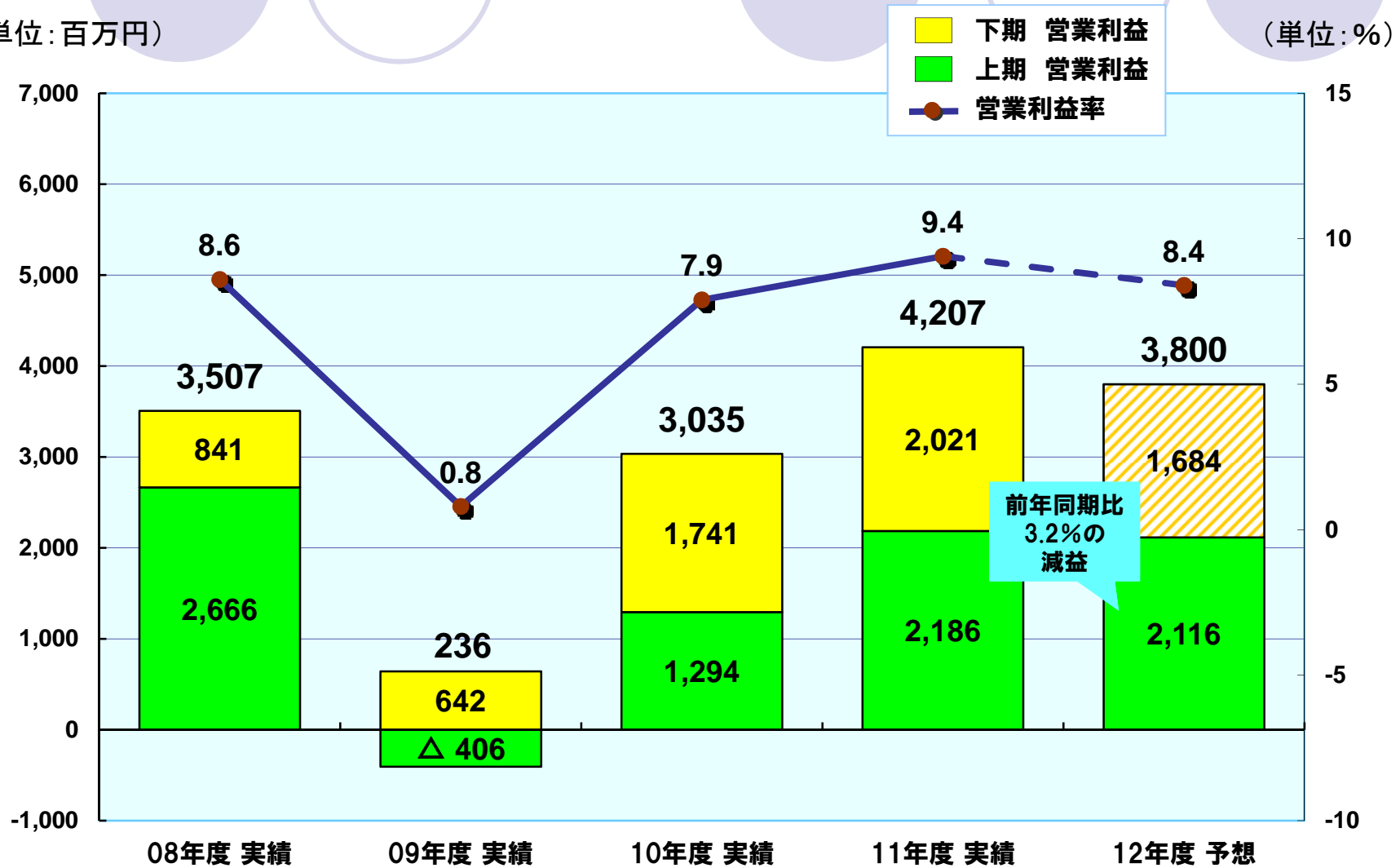


5

営業利益・営業利益率

(単位:百万円)

(単位:%)

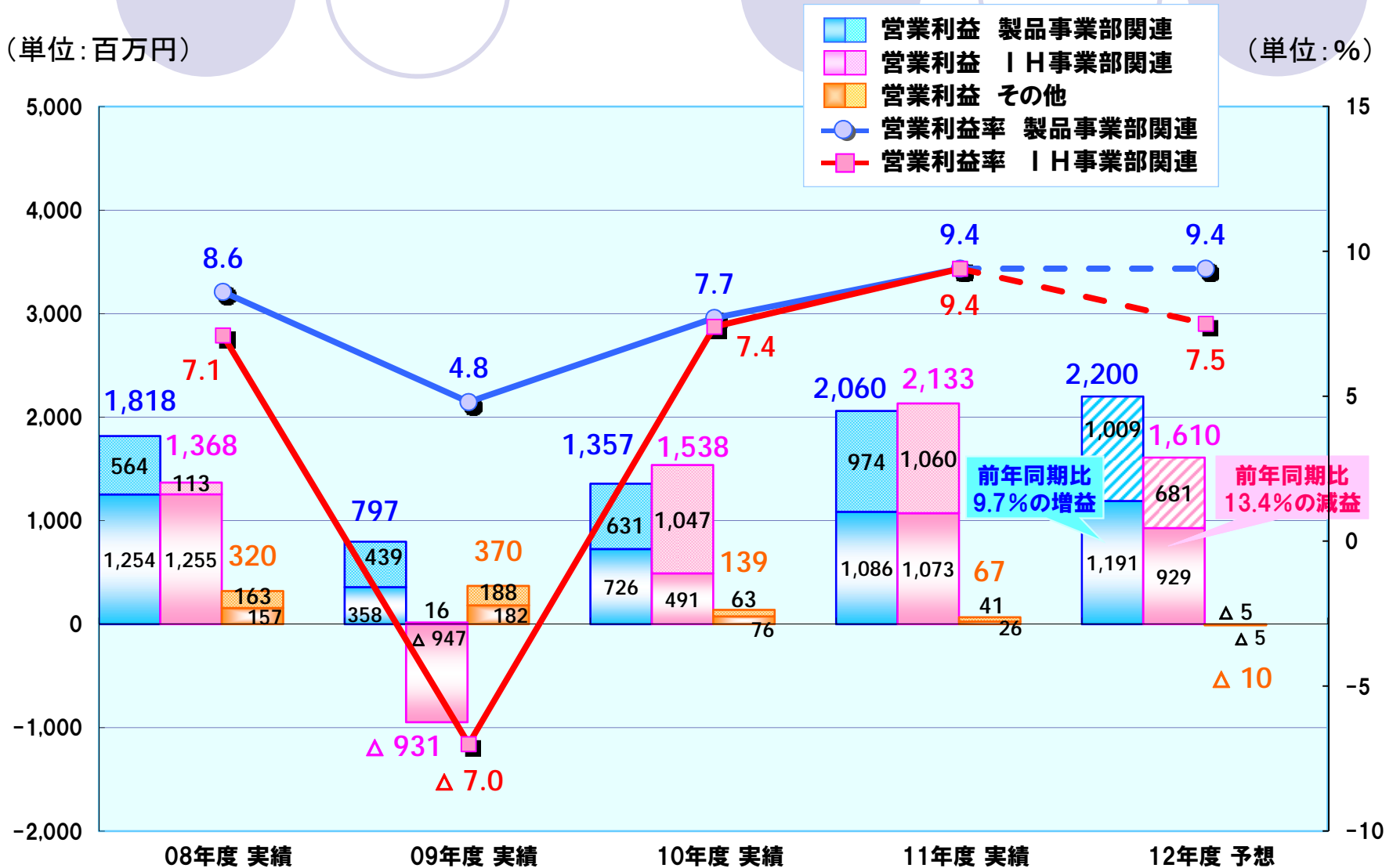


6

セグメント情報(営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)

(単位:%)

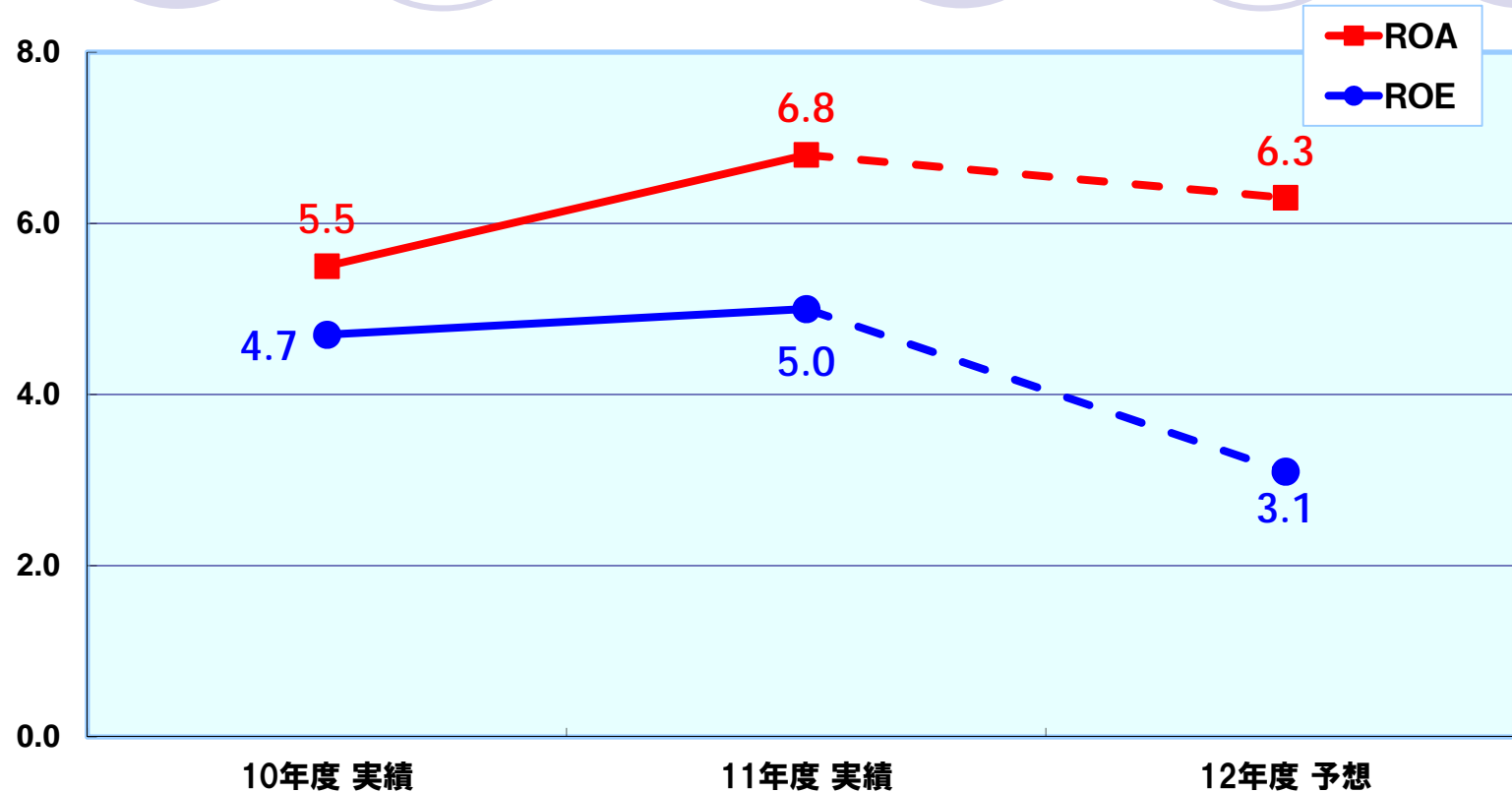


※セグメント間取引消去を含む。



ROA・ROE

(単位: %)



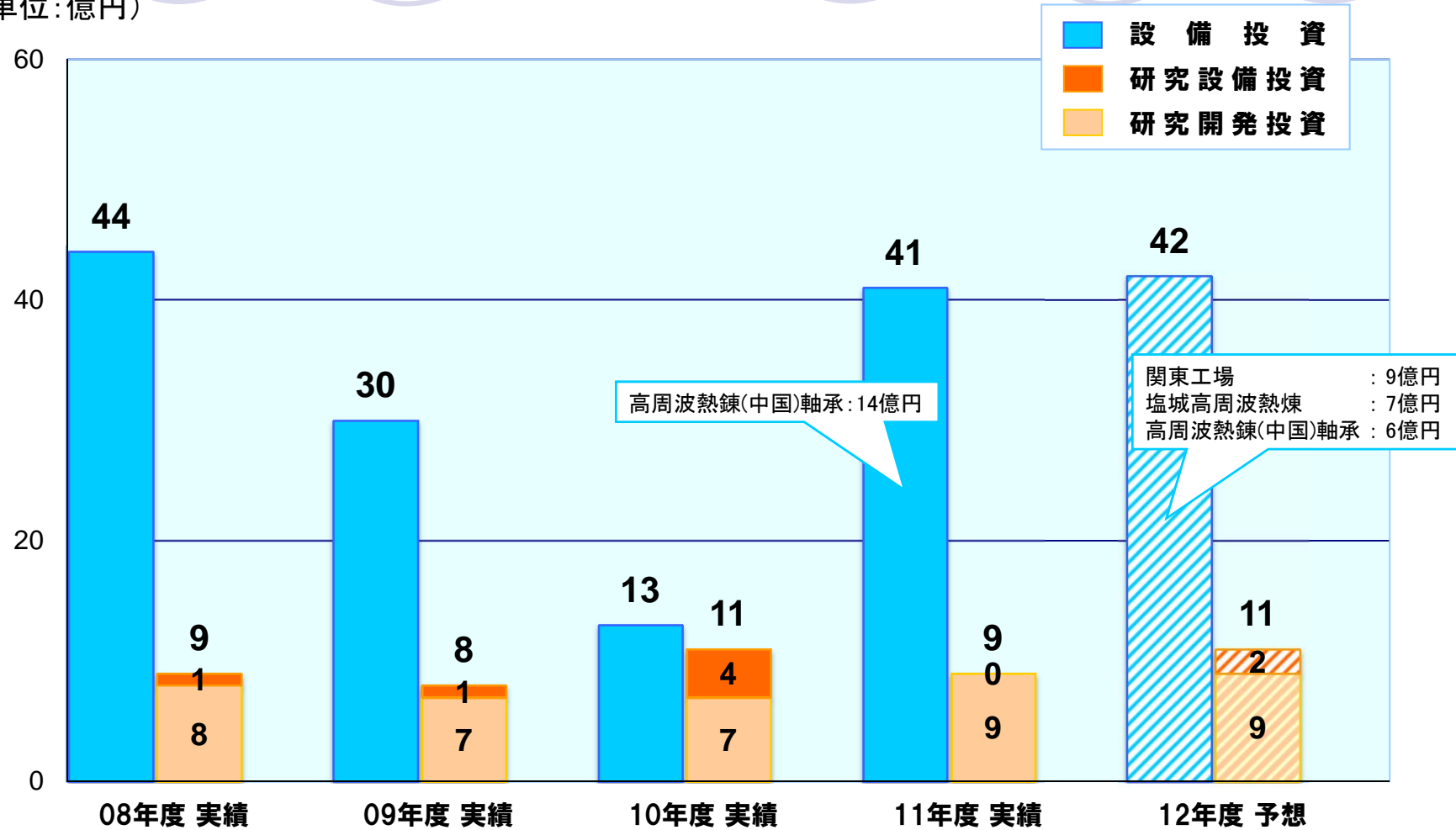
【12年予想の算定方法】

総資産、純資産: (前期末数値 + 当第2四半期末数値) / 2

経常利益、当期純利益: 直近の公表数値

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



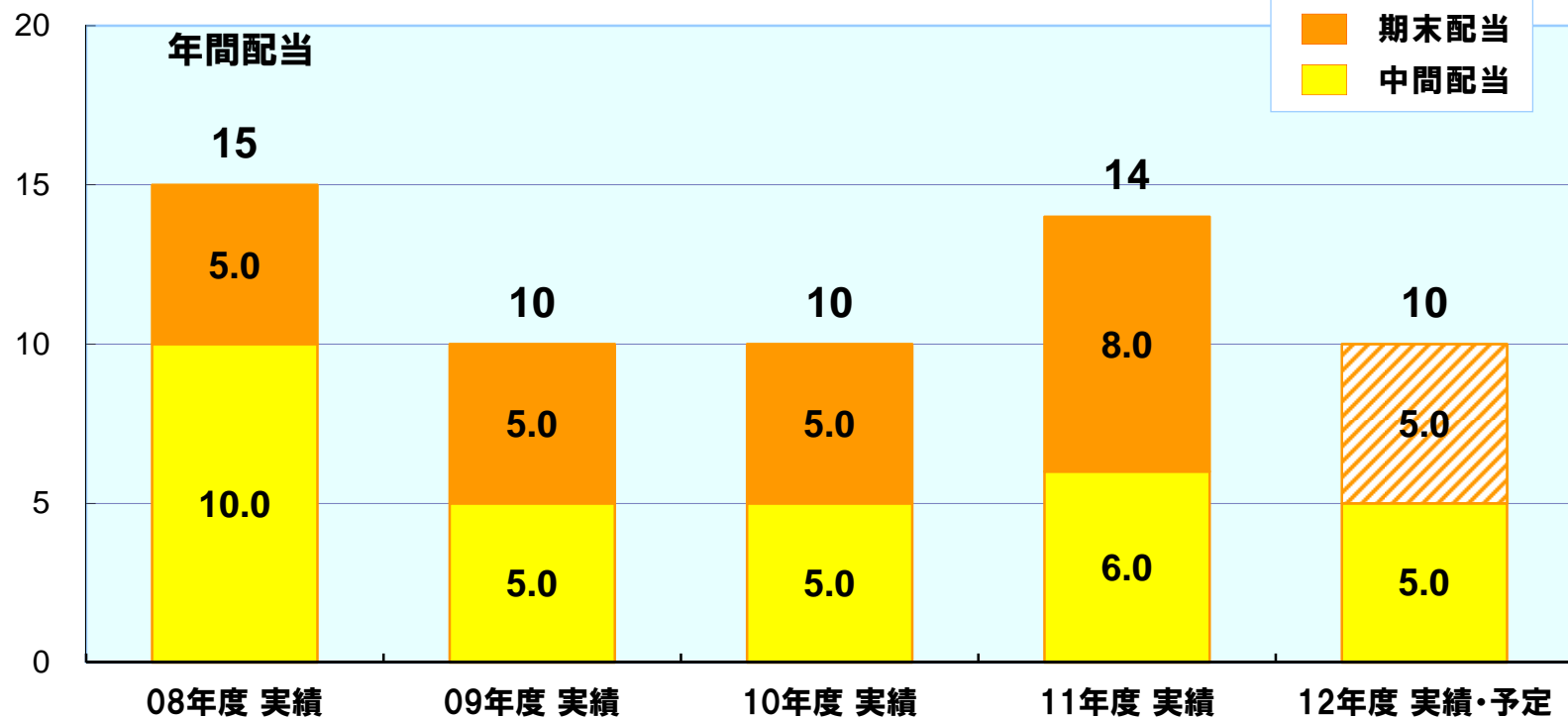
基本方針

基本的には、安定した配当を継続していくという方針に加え、業績に応じた利益配分を行うこととし、当社グループを取り巻く経営環境および財務の状況等を勘案のうえ、決定していくことを基本方針としています。

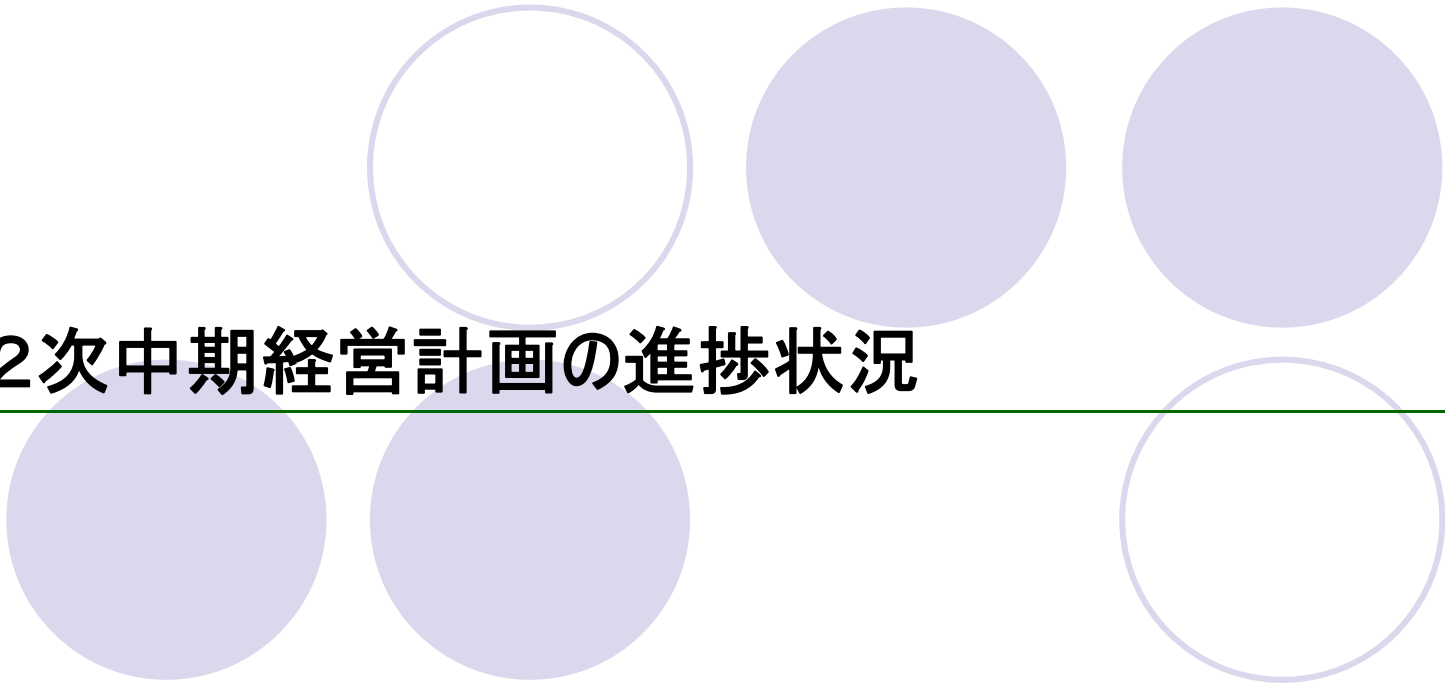
なお、原則として、「安定した配当」については、当面、年10円を下限とし、また、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向25%以上を目処としています。

(2011年10月13日公表)

(単位:円)



Ⅱ 第12次中期経営計画の進捗状況



第12次中期経営計画「*Global Challenge 30*」

スローガン 「*Global Challenge 30*」

【中期経営方針】

1. 成長戦略の遂行と基盤づくり
2. グローバル事業の展開
3. 人財の確保と育成

【趣旨】

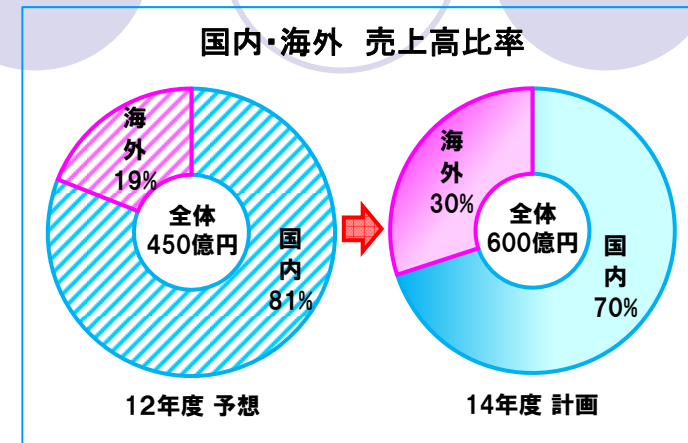
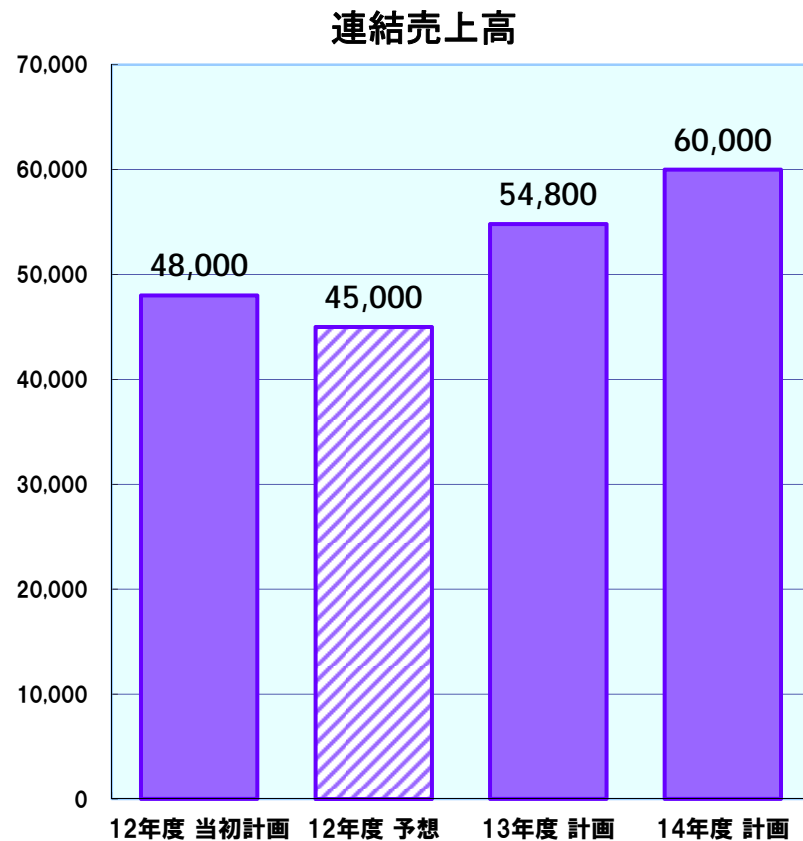
成長戦略を遂行するため積極的に海外事業展開をし、海外売上高比率倍増(30%)に向け、果敢に挑戦する。

[連結目標]

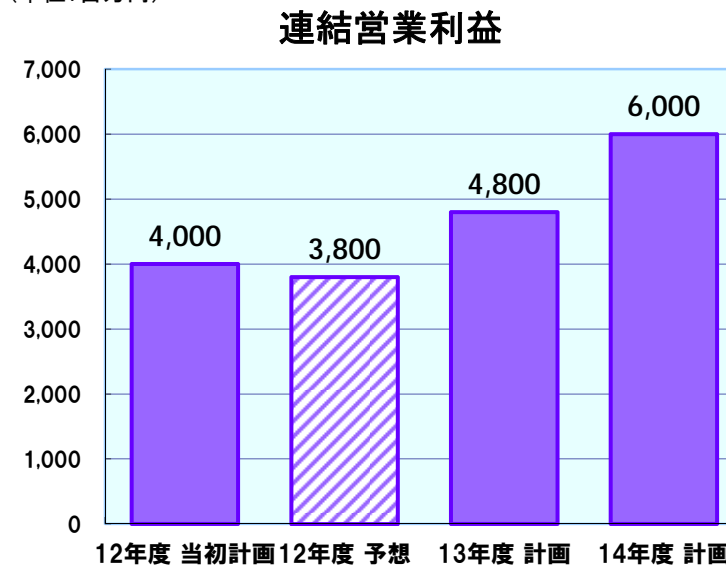
	2012年3月期 実績	2015年3月期 目標	増減率
売上高	446億円	600億円以上	35%
うち、海外売上高比率	15%	30%以上	—
営業利益	42億円	60億以上	43%
営業利益率	9.4%	10%以上	—
ROA(総資産経常利益率)	6.8%	9%以上	—
ROE(株主資本純利益率)	5.0%	8%以上	—

第12次中期経営計画の計画と実績(連結売上高・連結営業利益)

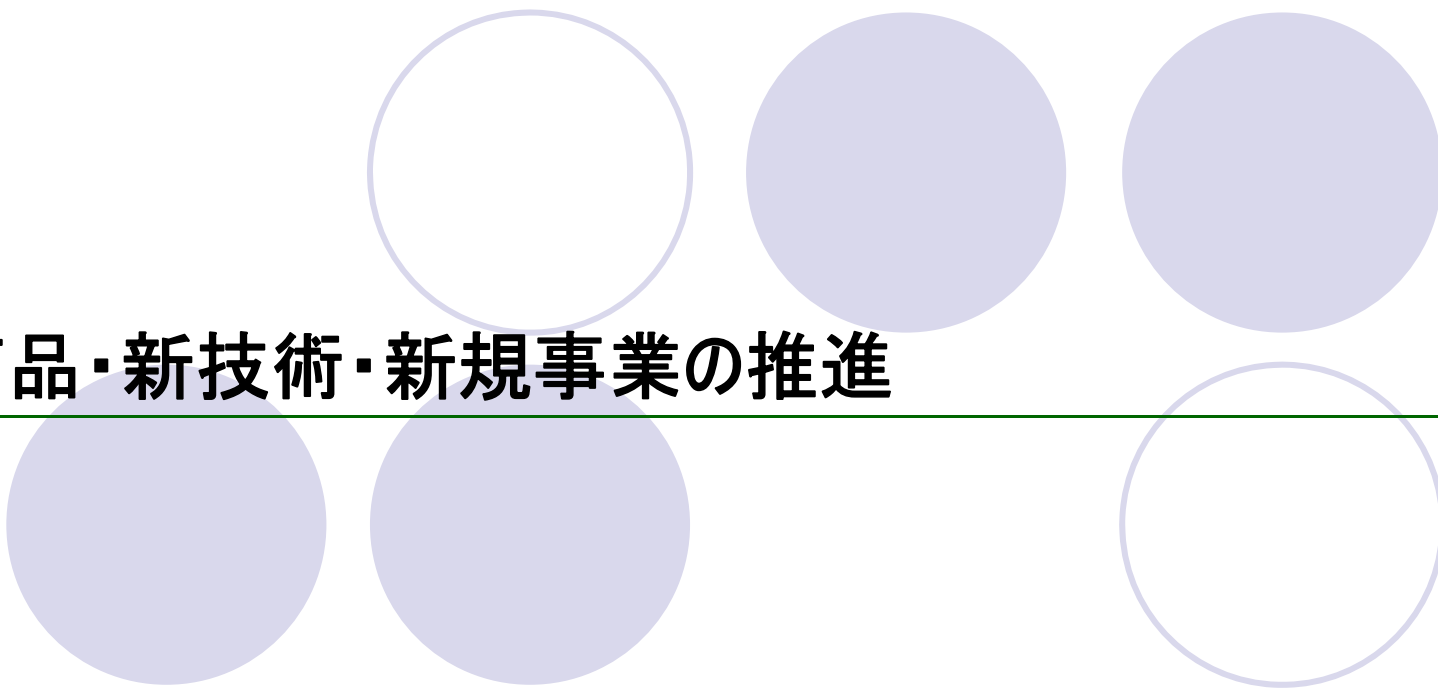
(単位:百万円)



(単位:百万円)



Ⅲ 新商品・新技術・新規事業の推進



“大型リング部品のソフトゾーンレス(継ぎ目無し)焼入技術の開発”

ソフトゾーンレス回転・一発焼入機を開発し、全周均一焼入れにより
定・低変形と生産性向上を実現

- ・ 従来の浸炭焼入れに比べ、大幅に時間短縮
- ・ 高周波移動焼入れに比べ、低変形で真円度が高い



高精度がより低コストで得られる



(外形3m大型リングの焼入れ)

大型リング部品での高周波ソフトゾーンレス焼入れと浸炭焼入れとの比較

項目	高周波ソフトゾーンレス一発焼入れ	浸炭焼入れ
処理時間(段取り含む)	約3時間(焼入れ10分以内)	2m級で4~5日(3枚同時処理の場合)
熱処理後の変形量	1.0mm以下で研削が微少	4mm程度で大幅な研磨が必要
環境負荷(CO ₂ 排出量)	少ない	多い

(A社仕様による比較)

※ソフトゾーンレス(継ぎ目無し): 全周焼入れで低い硬さ部は無し。

“新評定による高強度せん断補強筋1275(ウルボン)の建築分野および土木分野への拡販”

●ウルボン1275新設計のメリット

対象建物

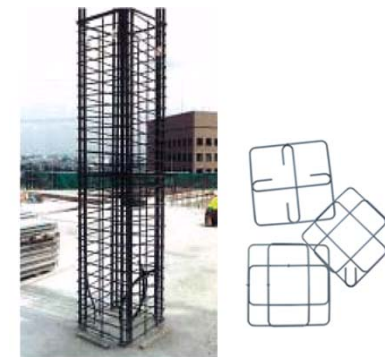
- ①最もコストメリットを発揮するのは10～20階(30m～60m)の高層RC

経済設計

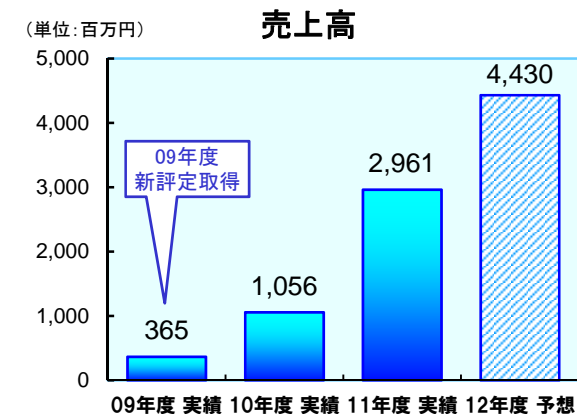
- ①建築における梁・柱の補強筋量を高強度せん断補強筋785に比べ30%以上の削減が可能
- ②土木における鉄道高架橋柱の補強量を高強度せん断補強筋785に比べ大幅に削減が可能

施工・品質アップ

- ①過密配筋の解消で鉄筋取付施工(工期)の向上とコンクリートの流動性がアップ

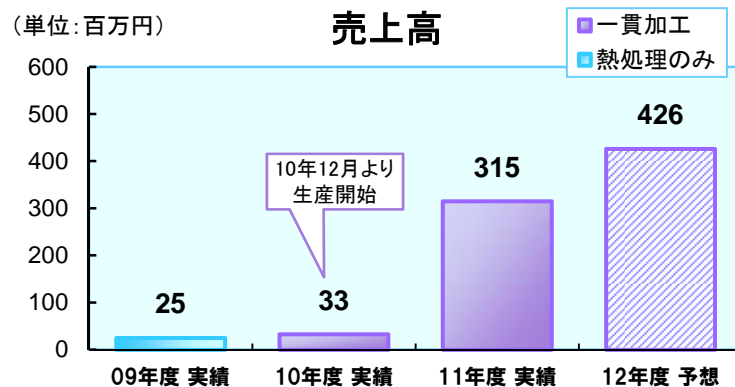


高強度せん断補強筋1275



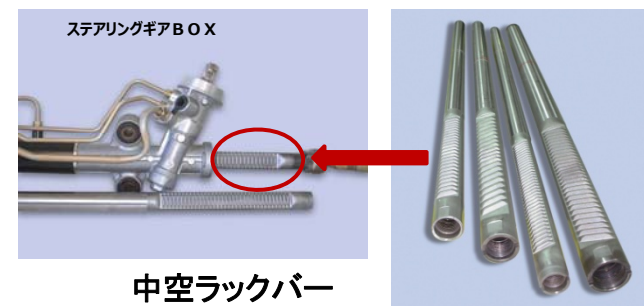
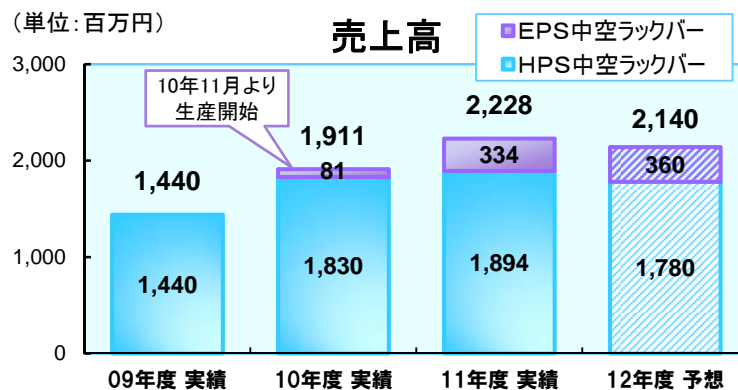
1. フロントフォークインナーチューブの加工・熱処理一貫加工の事業化の推進

“フロントフォークインナーチューブの量産体制の確立”（機械加工・熱処理・メッキの一貫加工）



2. 電動パワーステアリング用中空ラックバーの事業化

“電動パワーステアリング用中空ラックバーのグローバル販売展開”



※ EPS : 電動パワーステアリング
HPS : 油圧パワーステアリング

15

旋回輪一貫加工の推進

“神戸工場において
小型機種に続き中型機種の生産開始” (2012年10月)

高周波熱錬(中国)軸承有限公司

- ・ 2011年12月より小型機種生産開始
- ・ 2013年2月より中型機種生産開始予定
- ・ 生産量に対応したフレキシブルな人員体制の確立

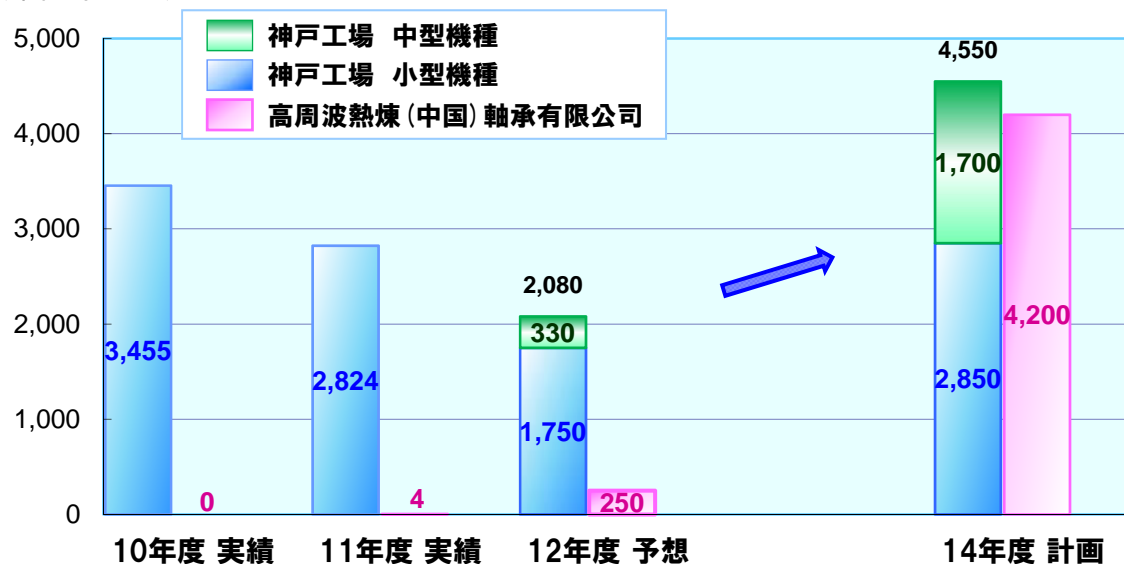


神戸工場



高周波熱錬(中国)軸承有限公司

(単位:百万円)



“関東工場(仮称)の設立”

関東地区における Netzlen のシェアを拡大し、
将来にわたっての事業基盤を確立する

【事業基盤の強化】

- ① 物流コストの改善
- ② リードタイムの短縮
- ③ 超大型建設機械部品の熱処理受託加工の拡大

工場概要

- 所在地 茨城県ひたちなか市新光町(常陸那珂工業団地)
- 操業開始 2013年10月予定
- 敷地面積 約20,000m²
- 建築面積 約7,000m²
- 従業員数 約65名
- 生産品目 建設機械・自動車部品等のIH(誘導加熱)技術における熱処理受託加工
- 設備投資額 約30億円



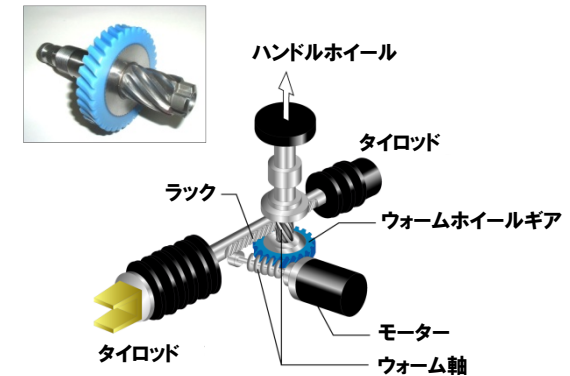
17

グローバル事業の展開

“電動パワーステアリング(EPS)用ウォームホイール事業を 塩城高周波熱煉有限公司(中国)にて展開”

事業の最適化をにらみ中国での生産を決定

中国を生産拠点とし、中国国内およびアセアン・インドへの販売を視野にグローバル展開を図る。



新事業の概要

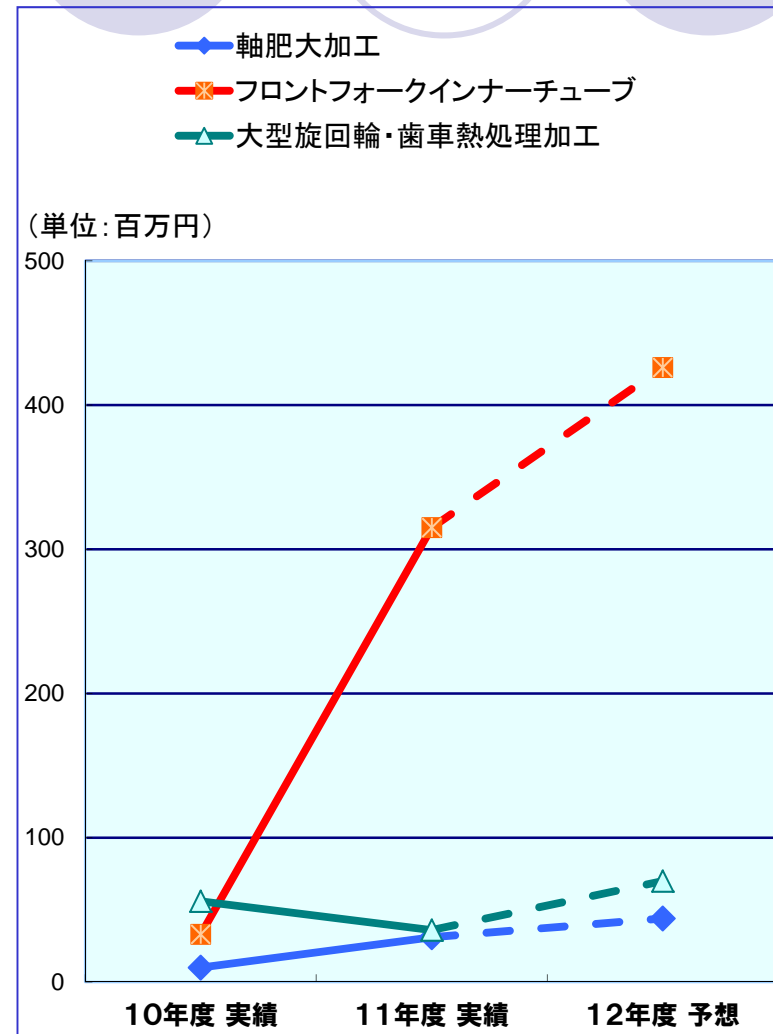
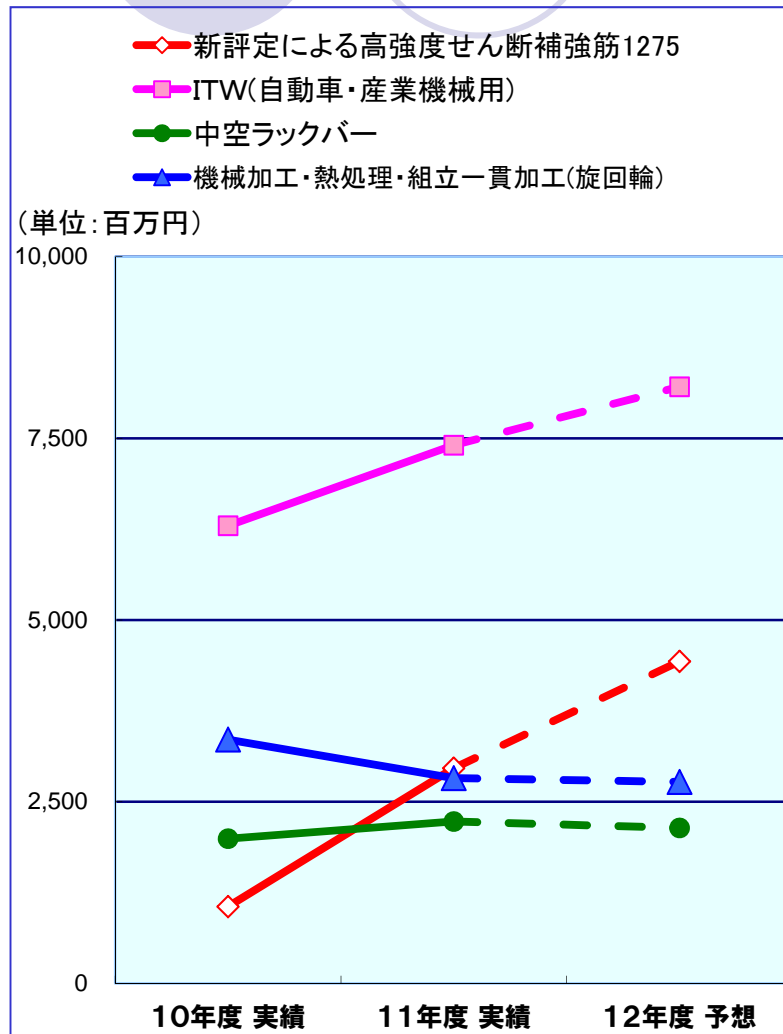
塩城高周波熱煉有限公司

- 所在地 江蘇省大豊市経済開発区張謇路158号
- 生産品目 EPSウォームホイール(MCナイロンタイプ)の一貫生産
- 操業開始 2013年8月予定



※ウォームホイール： 食い違い軸の歯車でねじ状の歯車(ウォーム)に噛み合う歯車状のものをウォームホイールという。一組の歯車で高減速比が得られる。

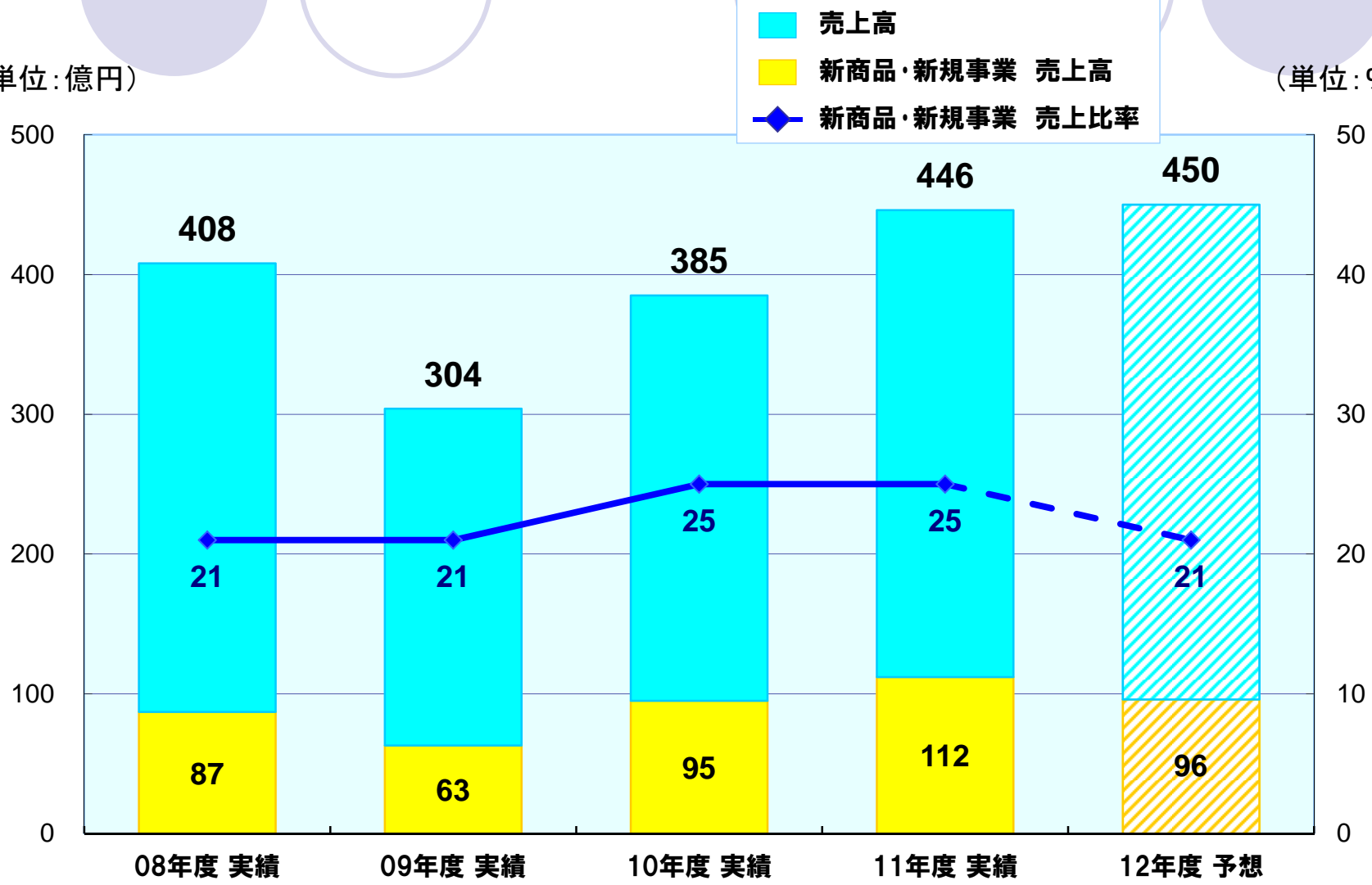
新商品・主要商品・新規事業売上高



新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、ネットレン新商品・新規事業売上基準による。



IV 2013年(平成25年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1. 売上高は、建設機械・工作機械業界からの受注量が減少したものの、建設・自動車関連業界からの受注量が比較的堅調であったことなどから、22,453百万円と前年同期比1.9%の増収、営業利益は2,116百万円と前年同期比3.2%の減益、経常利益は2,267百万円と前年同期比2.6%の減益となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損を1,010百万円計上したことにより、四半期純利益は619百万円と前年同期比48.5%の減益となりました。

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

高強度せん断補強筋の販売が引き続き好調に推移し、また、高強度ばね鋼線(ITW)の販売量も、主として米国での販売量が増加したことなどにより前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は11,799百万円と前年同期比6.5%の増収、営業利益は1,191百万円と前年同期比9.7%の増益となりました。

(2) IH事業部関連事業

熱処理受託加工・自動車部品関連では、ほぼ前年同期並みの売上高を確保できましたが、建設機械部品関連では、中国の成長鈍化などの影響を受け、売上高は減少いたしました。また、誘導加熱装置関連では、受注環境が堅調に推移し、売上高は前年同期と比較し増加いたしました。この結果、売上高は10,611百万円と前年同期比2.3%の減収、営業利益は929百万円と前年同期比13.4%の減益となりました。

(3) その他

当社が「オーバルコート大崎マークウエスト」に所有する賃貸用オフィスのフロアの一部が未契約となっていることなどから、賃貸収入は減少しました。この結果、売上高は43百万円と前年同期比48.8%の減収、営業損失は5百万円となりました。

3. 先行き不透明感が強い中、フリーキャッシュ・フローの黒字、実質的な無借金経営、高い自己資本比率など、健全かつ強固な財務体質を維持しています。

(単位:百万円)

	2011年 9月期	2012年 9月期	増 減	増減率(%)	2012年 3月期
売 上 高	22,027	22,453	426	1.9	44,635
営 業 利 益	2,186	2,116	△69	△3.2	4,207
経 常 利 益	2,326	2,267	△59	△2.6	4,470
四半期(当期)純利益	1,201	619	△582	△48.5	2,363

2013年3月期第2四半期 連結決算(単独期間)の要点(4)

(単位:百万円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	2013年 3月期	前年同期比		直前四半期比	
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	5,668	5,948	5,850	182	3.2	△ 98	△ 1.7
IH事業部関連事業	6,111	5,030	5,580	△ 531	△ 8.7	550	10.9
その他	43	21	21	△ 21	△ 50.7	△ 0	△ 2.1
売上高	11,823	11,000	11,452	△ 370	△ 3.1	451	4.1
製品事業部関連事業	596	607	583	△ 12	△ 2.1	△ 24	△ 4.0
IH事業部関連事業	689	469	460	△ 229	△ 33.2	△ 9	△ 2.0
その他	24	△ 1	△ 3	△ 28	-	△ 1	-
営業利益	1,310	1,075	1,040	△ 269	△ 20.6	△ 35	△ 3.3
経常利益	1,383	1,159	1,107	△ 275	△ 19.9	△ 51	△ 4.4
四半期純利益	855	235	383	△ 471	△ 55.2	147	62.7

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2011年 9月期	2012年 9月期	増 減	増減率(%)	2012年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	11,082	11,799	716	6.5	21,881
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	10,860	10,611	△ 249	△ 2.3	22,588
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	84	43	△ 41	△ 48.8	165
合 計		22,027	22,453	426	1.9	44,635

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2011年 9月期	2012年 9月期	増 減	増減率(%)	2012年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	1,086	1,191	105	9.7	2,060
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	1,073	929	△ 143	△ 13.4	2,133 (△ 53)
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	26	△ 5	△ 32	-	67
合 計		2,186	2,116	△ 69	△ 3.2	4,207

※()は、セグメント間取引消去。

26

連結営業利益増減内容

(単位:百万円)

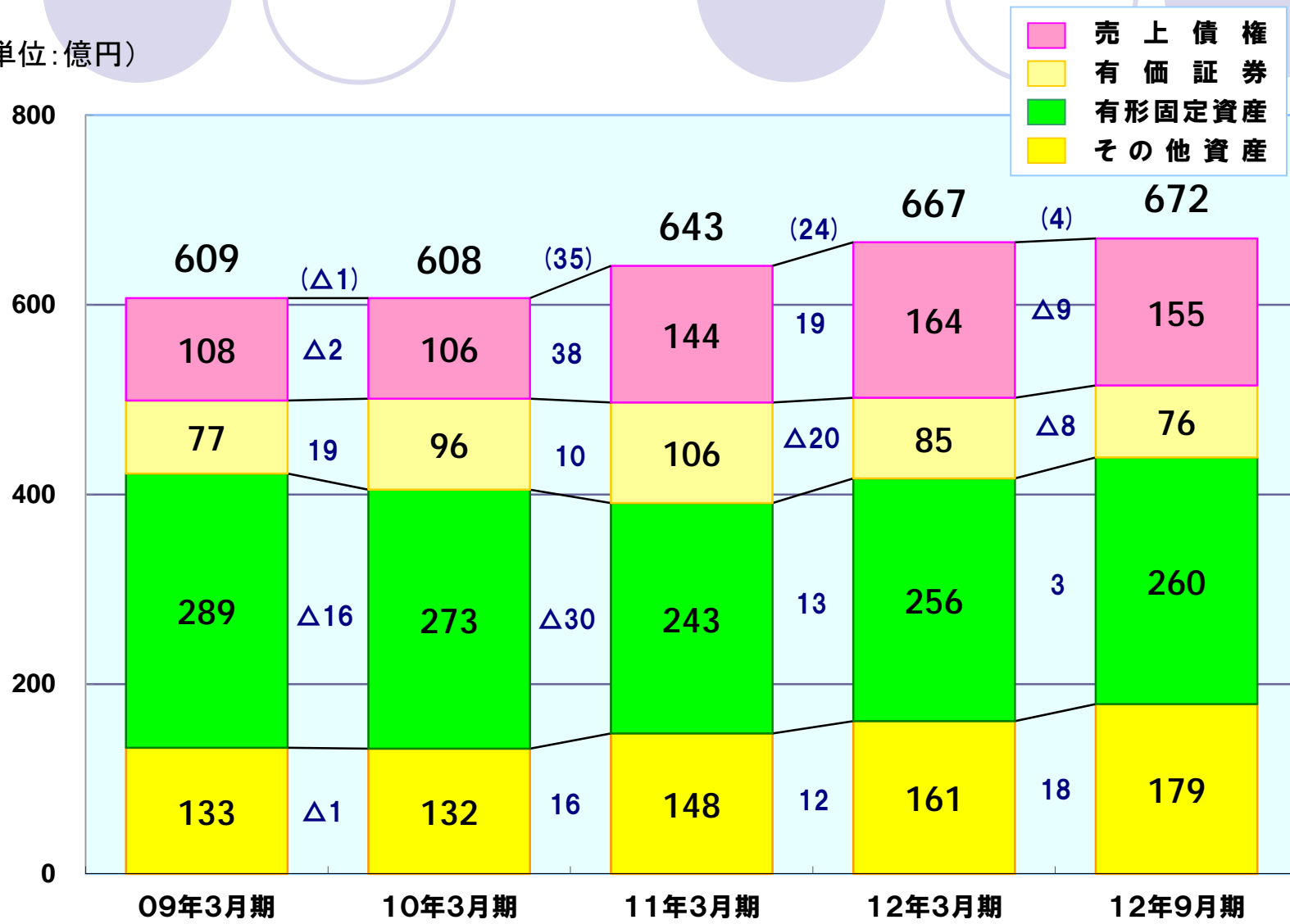


(単位:百万円)

科目	期別	2011年 9月期	2012年 9月期	増減	増減率(%)	2012年 3月期
売上高		22,027	22,453	426	1.9	44,635
売上原価		16,897	17,069	171	1.0	34,323
売上総利益		5,129	5,383	254	5.0	10,312
販売費及び一般管理費		2,943	3,267	324	11.0	6,104
営業利益		2,186	2,116	△ 69	△ 3.2	4,207
営業外収益		294	221	△ 73	△ 24.9	546
営業外費用		154	70	△ 83	△ 54.4	284
経常利益		2,326	2,267	△ 59	△ 2.6	4,470
特別利益		9	5	△ 3	△ 40.5	20
特別損失		332	1,121	788	237.1	136
税金等調整前当期純利益		2,003	1,151	△ 852	△ 42.5	4,354
法人税、住民税及び事業税		692	424	△ 268	△ 38.7	1,588
法人税等調整額		-	-	-	-	92
少数株主損益		108	107	△ 1	-	310
四半期(当期)純利益		1,201	619	△ 582	△ 48.5	2,363

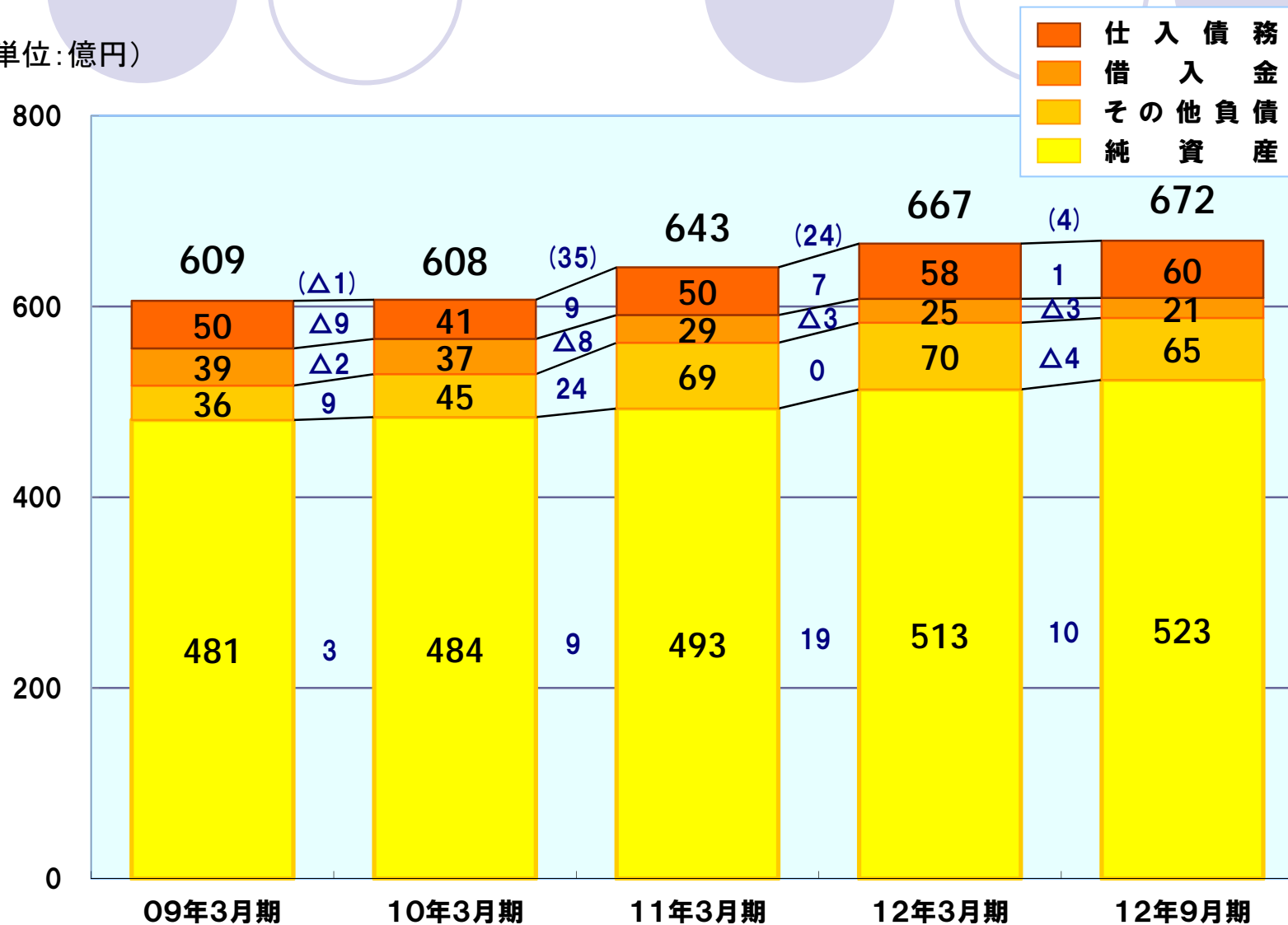
2013年3月期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2013年3月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2013年3月期第2四半期 キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

科 目	2011年 9月期	2012年 9月期	対前年同期比 増 減	2012年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,003	1,151	△ 852	4,354
減価償却費	1,226	1,228	2	2,699
売上債権の増減	△868	944	1,813	△1,992
仕入債務の増減	1,487	151	△ 1,335	798
その他	△1,786	△ 1,540	246	△2,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,062	1,935	△ 126	3,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,099	△ 1,308	△ 208	△2,798
フリーキャッシュ・フロー	962	627	△ 334	1,040
借入金	△352	△ 418	△ 65	△358
自己株式の取得	△ 0	△ 0	0	△13
配当金の支払額	△213	△ 340	△ 127	△469
その他	112	337	225	282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453	△ 421	31	△558
キャッシュ・フロー四半期(期末)残高	10,971	11,148	176	10,923

1. 通期連結業績予想につきましては、建設機械・工作機械業界からの受注量の回復に時間を要する見通しであること、また、中国をはじめとする世界経済減速の影響を受け、自動車関連業界など、その他の業界からの受注量も減少すると判断したため修正いたしました。

売上高は45,000百万円、営業利益は3,800百万円、経常利益は4,200百万円、当期純利益は1,600百万円を見込んでおります。

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

国内における高強度せん断補強筋の販売量が堅調に推移すると予想され、また、中国および米国での高強度ばね鋼線(ITW)の販売量増加が予想され、売上高は23,400百万円と前年同期比6.9%の増収、営業利益は2,200百万円と前年同期比6.8%の増益を見込んでおります。

(2) IH事業部関連事業

建設機械・工作機械業界からの受注量減少の長期化、また、中国をはじめとする世界経済減速の影響を受け、自動車関連業界からの受注量も減少すると予想され、売上高は21,510百万円と前年同期比4.8%の減収、営業利益は1,610百万円と前年同期比24.5%の減益を見込んでおります。

(3) その他

売上高は90百万円と前年同期比45.5%の減収、営業損失10百万円を見込んでおります。

(単位:百万円)

事業区分	2012年 3月期	2013年 3月期 (予想)	増減	増減率 (%)	2012年 9月期
製品事業部 関連事業	21,881	23,400	1,519	6.9	11,799
IH事業部 関連事業	22,588	21,510	△ 1,078	△ 4.8	10,611
その他	165	90	△ 75	△ 45.5	43
合計	44,635	45,000	365	0.8	22,453

(単位:百万円)

事業区分	2012年 3月期	2013年 3月期 (予想)	増減	増減率 (%)	2012年 9月期
製品事業部 関連事業	2,060	2,200	140	6.8	1,191
IH事業部 関連事業	2,133 (△53)	1,610	△523	△24.5	929
その他	67	△10	△77	-	△5
合計	4,207	3,800	△407	△9.7	2,116

34

連結設備投資額

(単位:百万円)

	2011年 3月期	2011年 9月期	2012年 3月期	2012年 9月期	2013年 3月期 (予想)
設備投資額	1,380	1,937	4,184	1,436	4,200
減価償却費	2,774	1,226	2,699	1,228	2,800

1. 適時的確な経営課題の遂行(経営改善)

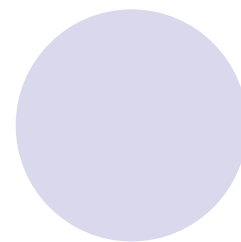
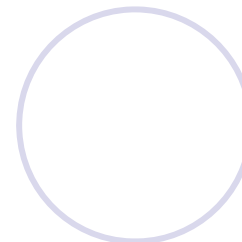
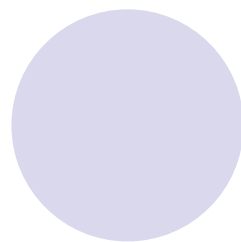
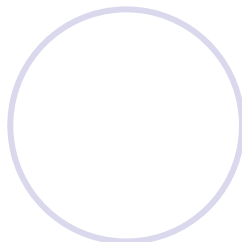
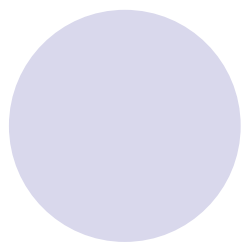
- (1) 受注量・シェアの確保
- (2) 収益力向上策(品質・コスト・生産性等)の強化
- (3) 新商品・新技術の拡販
- (4) グローバル戦略の推進

2. 経営資源の集中(資産の有効活用)

- (1) 設備・研究開発投資の選別的な実行
- (2) 内外投資の早期回収

3. 企業価値の向上(時価総額の増加)

- (1) 第12次中期経営計画「*Global Challenge 30*」の遂行
- (2) IRの強化
- (3) ROA・ROEの改善



ネツレン

高周波熱錬株式会社

(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。